

「知っ得！ もしもの介護」

～がんと認知症の基礎知識～

2020年、日本の人口は1億2400万人で高齢者は3600万人と予想されています。2025年には年間の死者が160万人以上の多死社会を迎えると言われていています。後期高齢者が増える中、いずれは家族や周りの人に介護が必要になります。しかし、医療保険や介護制度、介護施設について「なんとなく聞いたことはあるけど。」「医療の話は難しいから。」と後回しにしていますか。尼崎市で在宅医として多くの患者さんに寄り添い続けている長尾和宏氏をお迎えし、もしもの介護の時に必要な制度の活用や対策についてなど**分かりやすく、楽しく**お話ししていただきます。

「病気の9割は歩くだけで治る」
「その医者のかかり方は損です」
他多数出版

保険や制度の使い方

医師とのつきあい方



最期の場所選び

認知症にやさしいまち

LW（生前意思）

【日 時】 令和2年2月6日（木） 13:30～15:15（受付 13:00～）

【会 場】 ピフレホール 大ホール TEL621-1120
（ピフレ新長田 3F）

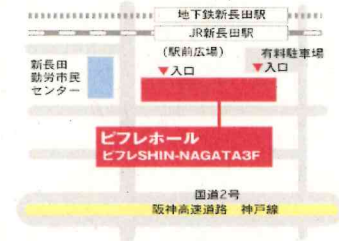
【対 象】 各区地区民児協の会長及び副会長
各区民児協の担当職員

【定 員】 350名

【日 程】

13:00～13:30 受 付
13:30～13:35 あいさつ
神戸市民生委員児童委員協議会 副理事長
13:35～15:15 講 演

「医療現場から見た もしもの介護
～がんと認知症の基礎知識～」
医療法人社団裕和会 理事長、長尾クリニック 院長
長尾 和宏 氏



【会場案内図】
<市営地下鉄・JR「新長田」駅下車すぐ>



《経歴》

東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで“人を診る”総合診療を目指す。「平穏死・10の条件」、「薬のやめどき」、「痛くない死に方」はいずれもベストセラー、最新刊「糖尿病と膵臓がん」「男の孤独死」、「痛い在宅医」は発売即重版、他著書多数。医学書「スーパー総合医叢書」全10巻の総編集など。日本慢性期医療協会 理事、日本尊厳死協会 副理事長、日本ホスピス在宅ケア研究会 理事。関西国際大学 客員教授。医学博士。

【申 込】 対象者は、原則として出席していただきますようお願いいたします。
※欠席される方のみ、区民児協事務局までご連絡をお願いいたします

【主 催】 社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会・神戸市

【後 援】 神戸市民生委員児童委員協議会

【お問合わせ先】 社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学（中塚・西島）
神戸市中央区磯上通3-1-32 こうべ市民福祉交流センター内
TEL 078-271-5300 FAX 078-271-5365
E-Mail daigaku@with-kobe.or.jp